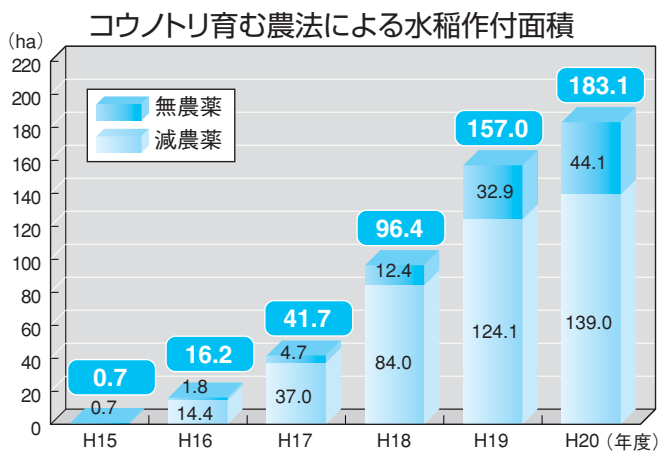
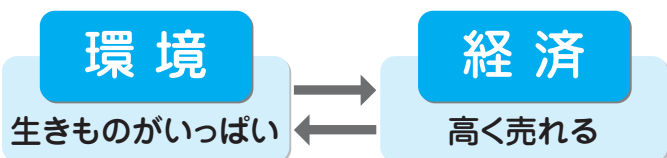


〈環境経済の事例〉



平成19年度産米のJA出荷価格 (コシヒカリ30kg当たり)

| 種類 | 価格 | 価格差 |
|-----------------|---------|-------|
| 一般慣行農法 | 6,900円 | — |
| コウノトリ育む農法 (減農薬) | 8,600円 | 1.25倍 |
| コウノトリ育む農法 (無農薬) | 10,800円 | 1.57倍 |

市では、環境を良くする活動によって経済効果が生まれ、その経済効果によって環境を良くする活動が活発になり、さらに経済効果が高まるような仕組みを「環境経済」と呼んで、取組みを推進しています。その取組み事例と支援策を紹介します。詳細は問い合わせください。市ホームページにも掲載しています。《問合せ》コウノトリ共生課環境政策係 ☎21-9017

環境経済の取組みが広がっています

5つの柱で取り組んでいます

①豊岡型地産地消の推進

豊岡で作られたものを豊岡で消費・利用し、環境を保全するとともに、市内の企業・生産者を支えます。

- ・豊岡産
 - 豊岡製の優れた靴を地域団体商標登録により明確化（56品目）
 - ・マロニエの里認証商品
 - 日高地域の農産物などを使用した安全・安心な加工食品を開発（47品目）
- ・出石皿そば協同組合
- ・豊岡産のそば粉を積極的に使用
- ・コウノトリ本舗（祥雲寺）

豊岡にこだわった土産などを販売
 ・豊岡産食材の学校給食

米は、すべて豊岡産コシヒカリ。2カ月に3回の割合でコウノトリ育む農法により栽培された米を使用



▲豊岡らしい土産がいっぱい

②豊岡型環境創造型農業の推進

農薬や化学肥料に頼らず、農業をしながら多様な生きものを育みます。

- ・コウノトリ育む農法
 - 安全・安心な米と多様な生きもの（コウノトリのエサ）を同時に育む農法（平成20年度約183ヘクタール）
- ・コウノトリの舞
 - 安全・安心な農産物を市が認証（平成19年度約369ヘクタール）
- ・コウノトリ大豆
 - コウノトリ育む農法の輪作体系として栽培。関西大豆協会と契約し、

一般大豆の約3倍の価格で出荷
 ・フクノハナ振興プロジェクト
 全国でも出石地域だけで栽培されている酒米フクノハナで純米酒、和菓子、化粧品などを開発



▲出石地域の水稲作付面積の約2割

③ コウノトリリズムの展開

豊岡固有の自然、歴史、伝統、文化などの資源や心地良さを磨き、つないで、豊岡らしいツーリズムをつくりまします。

- ・国内外から視察者
研究者、農業・行政・報道関係者などがコウノトリ野生復帰などを視察し、豊岡に滞在・宿泊
- ・中国から修学旅行生
小・中学生がコウノトリ野生復帰や市民の取り組みなどを学習
- ・たけのスタイル
竹野地域の自然を体験して学ぶプログラムを実施



▲観光客らでにぎわう県立コウノトリの郷公園

・JTBクリーンアップキャンペーン
京阪神から318人が、日帰りでごみ拾いに参加(約1トンを収集)

⑤ 自然エネルギーの利用

豊岡にある自然のエネルギーを利用し、地球温暖化防止と経済の活性化を図ります。

- ・使用済みてんぷら油の回収・燃料として再利用
竹野ふるさと創生協会と城崎環境衛生推進協議会が、小売店の協力を得て回収し、精製業者に売却(平成19年度約1,500リットル)
- ・菜の花プロジェクト
①菜の花を栽培↓②菜種油を学校給食で使用↓③燃料に精製↓④給食の配送車などで利用
- ・ペレットストーブの設置

木質ペレット(木くずを固形化した燃料)
を使用するストーブを市の公共施設に設置



▲木質ペレット



▲燃料費と二酸化炭素排出量を削減

④ 環境経済型企業が集積

環境を良くする活動により、利益を生み出す企業を増やします。

- ・カネカソーラーテック(神美台)
太陽電池を製造。年産20メガワットで生産を開始し、現在は年産70メガワット(一般家庭約2万3千戸分)
- ・オーク(寿町)
廃タイヤを利用した振動伝播阻止法を開発。大阪モノレールや岡山県内の国道で施工予定
- ・神鍋白炭工房(日高町栗栖野)
木炭の量産化設備を開発。間伐材など里山の資源の利用拡大



▲太陽電池を製造しているカネカソーラーテック

・JA全農兵庫但東畜産センター(但東町小谷)
牛舎の敷材(牛ふんとおがくずなど)を発酵させた堆肥を製造

環境経済の取組みを支援します

- 豊岡型地産地消の推進
・学習会、調理実習などの講師紹介
・市場などの見学の幹旋
- 豊岡型環境創造型農業の推進
・コウノトリ育苗農法などに、新たに取り組む農家への研修会の開催
・転作田を活用したビオトープと冬期湛水の水田管理を農家に委託
・「コウノトリの舞」農産物の残留農薬検査費用の負担
- コウノトリリズムの展開
・旅行会社との商品企画
・ガイドマップの作成
- 環境経済型企業が集積
・研究開発、設備投資への補助
・大学などの研究者の紹介
・中小企業者向けの融資
- 自然エネルギーの利用
・個人向け住宅への太陽電池設置の補助
・地球温暖化防止、太陽光発電などの環境学習の講師紹介



▲農家への研修会